

まつど議会だより

発行/松戸市議会
編集/広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからご覧いただけます。(http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

東松戸小学校が開校しました

東部地域の核として発展してきた東松戸地区に、29年ぶりに新設小学校「東松戸小学校」が開校しました。この4月から子ども達の元気な声が響き渡っています♪



松戸市議会の情報を ホームページで 公開しています。

本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」からご覧いただけます。

松戸市議会

検索



議会中継

インターネット放映アクセス件数
39万6,331件
(平成17年6月開設～平成28年3月末)

期日	主な内容
6月10日(金)	招集日・本会議(議案提案理由説明)
13日(月)	本会議(一般質問)
14日(火)	本会議(一般質問)
15日(水)	本会議(一般質問)
16日(木)	本会議(一般質問)
17日(金)	本会議(一般質問・議案質疑)
21日(火)	総務財務常任委員会
22日(水)	健康福祉常任委員会
23日(木)	教育環境常任委員会
24日(金)	建設経済常任委員会
28日(火)	本会議(議案等の採決)

※このほか、随時、委員会が開催される場合があります。また、開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページでご確認ください。

6月定例会の開催予定

平成28年松戸市議会6月定例会は、6月10日(金)から28日(火)まで、いずれも10時より開催する予定です。請願・陳情は、6月1日(水)正午が提出期限です。

3月定例会

平成28年3月定例会を2月22日から3月22日まで開催しました。今定例会では、市長・教育長の施政方針等に対して各党派の代表質問を行いました。また、市長から提出のあった専決処分報告を承認し、人権擁護委員候補者の推薦議案2件に同意しました。さらに、27年度補正予算に関する議案7件を可決しました。
このほか、市長が提出した28年度予算に関する議案10件や条例などの一般議案22件および追加議案2件を、それぞれの委員会において審査しました。最終日には、これらの案件のほかに、固定資産評価員の選任1件および議員提出議案6件を上程し、採決しました。
(2面に審議結果、3面に予算審査の主な質疑、4面に討論を掲載)

声の議会だよりを ご利用ください

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター
(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111

議会を 傍聴しませんか

●問い合わせ先
市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

3月定例会審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
市長提出議案					議員提出議案				
第45号	専決処分の報告及び承認(松戸市市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定)	-	承認	全会一致	第72号	松戸市学童災害共済条例等の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	全会一致
第46号	平成27年度松戸市一般会計補正予算(第4回)	総務財務	可決	多数意見	第73号	松戸市中心身障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	全会一致
第47号	平成27年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	健康福祉	可決	多数意見	第74号	松戸市高等学校入学資金貸付条例等の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見
第48号	平成27年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	多数意見	第75号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第49号	平成27年度松戸市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	全会一致	第76号	松戸市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第50号	平成27年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第77号	松戸市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第51号	平成27年度松戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第78号	松戸市歯と口腔の健康づくり推進条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第52号	平成27年度松戸市病院事業会計補正予算(第1回)	病院特別	可決	多数意見	第79号	松戸市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第53号	平成28年度松戸市一般会計予算	予算審査特別委員会	可決	多数意見	第80号	松戸市建築審査会条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致
第54号	平成28年度松戸市国民健康保険特別会計予算		可決	多数意見	第81号	松戸市空家等対策の推進に関する条例の制定	建設経済	可決	多数意見
第55号	平成28年度松戸市松戸競輪特別会計予算		可決	多数意見	第82号	松戸市火災予防条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致
第56号	平成28年度松戸市下水道事業特別会計予算		可決	多数意見	第83号	契約の締結(松戸市立小中学校空調設備整備PFI事業)	教育環境	同意	多数意見
第57号	平成28年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算		可決	多数意見	第84号	松戸市土地開発公社の解散	建設経済	可決	全会一致
第58号	平成28年度松戸市駐車場事業特別会計予算		可決	全会一致	第85号	人権擁護委員候補者の推薦(大井 博美)	-	同意	全会一致
第59号	平成28年度松戸市介護保険特別会計予算		可決	多数意見	第86号	人権擁護委員候補者の推薦(藤田 宗晴)	-	同意	全会一致
第60号	平成28年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算		可決	多数意見	第87号	松戸市病院事業使用料手数料条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見
第61号	平成28年度松戸市水道事業会計予算		可決	多数意見	第88号	松戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致
第62号	平成28年度松戸市病院事業会計予算		病院特別	可決	多数意見	第89号	固定資産評価員の選任(高尾 司)	-	同意
第63号	行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	総務財務	可決	全会一致	議員提出議案				
第64号	松戸市行政不服審査会条例の制定	総務財務	可決	全会一致	第26号	首相の「改憲発言」を撤回し憲法遵守を求める意見書	-	否決	多数意見
第65号	松戸市市民交流会館条例の制定	建設経済	可決	全会一致	第27号	社会保障費削減の撤回を求める意見書	-	否決	多数意見
第66号	松戸市職員の退職管理に関する条例の制定	総務財務	可決	多数意見	第28号	軽減税率の円滑な導入に向け事業者支援の強化などを求める意見書	-	可決	多数意見
第67号	松戸市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見	第29号	別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する意見書	-	可決	全会一致
第68号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見	第30号	児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書	-	可決	全会一致
第69号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見	第31号	LGBTなどの性的マイノリティへの理解と社会環境整備の促進を求める意見書	-	可決	全会一致
第70号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致					
第71号	松戸市ホームヘルパー派遣手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致					

会派別一覧

～松戸市議会では3人以上で構成する団体を会派としています。この4月、会派構成に変更がありました。～

公明党	
◎ 織原 正幸	○ 石川 龍之
○ 鈴木 智明	松尾 尚
岩瀬 麻理	高橋 伸之
伊東 英一	飯箸 公明
城所 正美	諸角 由美

まつど自民	
◎ 木村 みね子	○ 石井 勇
○ 大谷 茂範	鈴木 大介
杉山 由祥	張替 勝雄
田居 照康	平林 俊彦
小沢 曉民	

市民クラブ	
◎ 末松 裕人	○ 深山 能一
○ 渋谷 剛士	市川 恵一
岩堀 研嗣	山口 栄作
大井 知敏	中川 英孝

社・民・無所属・市民の会	
◎ 二階堂 剛	○ D E L I
増田 薫	※ 関根 ジョー
※ 原 裕二	※ 谷 口 薫

清松会	
◎ 大橋 博	○ 箕輪 信矢
桜井 秀三	

日本共産党	
◎ 宇津野 史行	○ 高橋 妙子
平田 きよみ	山口 正子
高木 健	

無所属	
※ 大塚 健児	

無所属	
※ 山中 啓之	

無所属	
中田 京	

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

◎ 市川 恵一	○ 伊東 英一	○ 石井 勇健	◎ 高橋 伸之
※ 原 裕二	箕輪 信二	城所 正幸	岩堀 研嗣
田居 照康	二階堂 剛	田居 照康	

※変更のあった委員

議員定数
44名

※変更のあった議員
(4月12日現在)

予算審査特別委員会の 審査から

～平成28年度予算(10会計)を可決～

※病院事業会計は市立病院検討特別委員会で審査しました。

予算審査特別委員会委員

- 委員長 石木 D 大原 高深
- 委員 龍みし 茂裕 伸能
- 委員 川村 E 谷 橋山
- 委員 之子 I 範二 一
- 委員 尾井 輪 橋松
- 委員 松石 箕 高末
- 委員 尚勇 矢 子人
- 委員 信 妙 裕

予算のあらまし

会計名		28年度予算額	伸長率(%)
一般	総務費	11,474,848	1.0
	民生費	72,931,048	11.2
	衛生費	13,979,556	△0.4
	労働・農林水産費	397,208	3.0
	商工費	847,704	△2.7
	土木費	20,901,217	56.8
	消防費	6,092,425	0.8
	教育費	15,303,594	△23.4
	その他	10,552,400	4.0
	計	152,480,000	7.6
特別	国民健康保険	58,283,976	△1.5
	松戸競輪	23,732,874	6.1
	下水道事業	13,944,645	1.9
	公設地方卸売市場事業	218,044	0.2
	駐車場事業	91,002	0.0
	介護保険	33,124,394	5.6
	後期高齢者医療	5,131,969	10.4
企業	水道事業	2,182,987	△1.2
	病院事業	30,194,136	29.0
合計	319,384,027	6.9	

今後は、公共施設を維持管理している部長級職員で構成する庁内検討委員会で、新たな基準づくりを協議・検討を進めていきたい。

今後、これまで近隣市に後れをとっていた子育て世帯向けのプロモーションなどを開始することにより、子育てしやすいまちとして、多くの方に選ばれるよう努めていきたいと考えている。

総務費

公共施設再編整備推進事業について

公共施設の建て替えや大規模修繕を進めるにあたり、長寿命化の観点から、庁内共通の明確な基準が必要ではないか。

多額の費用がかかる建て替えや大規模修繕などの場合には、施設の政策目的に照らして今後のあり方を検討することや、本市の財政を意識した最適な整備手法が必要であると認識している。そのためは、施設の集約化や複合化、建設コストの抑制、施設サービスの提供主体としての民間との連携、新たな施設整備を計画する規準といった施設のライフサイクルコストを縮減するための検討をした上で、予算化を進めるプロセスや基準などが必要であると認識している。

民生費

子育てプロモーションについて

子育てプロモーションの内容と効果について伺う。

本事業は、子育て施策や子育て環境の魅力を市内外へ広く発信するためのプロモーションとして、「映画館での松戸市の子育てに関するCM放映」などを予定している。

土木費

市街地整備事業について

市内各所での開発を検討しているが、どのように優先順位を考えているか伺う。

現在、都市計画マスタープランや松戸駅周辺まちづくり基本構想に基づき、まちづくりを検討している。松戸駅周辺整備では、さまざまな事業を連鎖的に進め、回遊性の向上等、事業効果の高いものを優先したい。そのほかの地区は、狭い道路の存在や家屋の密集による防災面等に課題があることから、安全性の確保が優先とされている。また、市街地の形成では、地元地権者による協働のまちづくりが必要不可欠であるため、地元機運の高まりや事業の合意形成が優先順位の検討基準になってくるものと考えている。

衛生費

ロタウイルスワクチン 予防接種業務について

予防接種費用の一部助成を新たに導入する理由と、その助成額は。

ロタウイルス感染症は特異的な治療薬がなく、特に乳児では重度の下痢症を引き起こし、脳症等を併発すると重い後遺症を残すことがある。世界保健機関は定期接種への導入を推奨しており、我が国でも、有効性や安全性等の評価を行い、定期接種に位置付ける方向で検討している。自費で受けた場合の一般的な費用は3万円程度となることから、子育ての側面的支援、保護者の経済的負担を軽減するために実施するものである。使用するワクチンの種類により接種回数は異なるが、1人当たり最大9千円の助成を予定している。

消防費

防災拠点整備業務について

平成27年度と比較し、業務全体の予算が増額している理由は。

避難所の利用に関する協定の締結やマニュアルの整備に伴い、避難所機能を整備するため備蓄品購入費等の経費を増額したものである。その主な内容は、収容避難所や福祉避難所として協定を締結した市内の県立高校4校、矢切特別支援学校、新設される東松戸小学校へ必要な資器材等を備蓄する。また、福祉避難所となる市民センターや老人福祉センターに簡易ベッドや寝具類、簡易トイレを備蓄する。このほか、松戸駅周辺の帰宅困難者等対策として、市民会館、市民劇場に必要な食糧、毛布等を整備するためのものである。

教育費

特色ある教育活動 推進事業について

学力向上支援業務の予算を増額した理由とその効果について伺う。

当該業務は予備校と連携して生徒に対し学習面の支援や受験のノウハウなど最新情報を提供するものである。さらに市立松戸高校と予備校との連携を密にすることで、進学に向けた学習意欲の向上や生徒の希望する進学を実現する学習環境の整備を目的とした業務である。

効果については、すぐに確認できる性質のものではないが、当該業務の実施により生徒の学習面への支援や受験ノウハウの提供ができた。また、予備校側からは生徒に対する客観的な意見を聞くことができた。これらを参考に、今後、より充実した学力向上支援を展開していきたい。

特別・企業会計

水道事業

水道会計について

給水収益の減少傾向が続いているが、どのような改善策を考えているか市の見解を伺う。

水のPR事業として、キャラクターを作り、給水区域内で開催される地域イベントなどに積極的に参加し、PRに取り組んでいる。水道部小金庁舎と常盤平営業所では、夏の熱中症対策と併せて水の試飲会を開催し、水道の強みである深井戸水の紹介等を行っている。また、北千葉広域水道企業団に、おいしい水の利用促進に係るPR活動の強化を各構成団体に要請した。今後、さまざまな機会を利用して市営水道の利用促進に係るPR活動を展開し、減少する使用水量を抑制していきたいと考えている。

病院事業

経営改善に向けた 方向性について

平成28年度東松戸病院における経営改善に向けた取り組みは。

①緩和ケア病棟においては、終末期に限らず、紹介元病院から早い段階での入院受け入れを実施する。②患者の状態に合わせたベットコントロールによる病床利用率の向上を図る。③地域包括ケア病床および回復期リハビリテーションの上位施設基準の取得を検討する。④長期入院患者に対し、在宅看護との連携を図る。⑤サブアキユニット(在宅等で症状が急性増悪する状況)に対するサポート機能の強化。これらの課題に取り組み、医療機能を向上し経営改善に努めていきたい。

予 算 討 論

平成28年度予算案について、定例会最終日に討論を行いました。

日本共産党

平成28年度一般会計、国民健康保険・競輪・公設地方卸売市場・介護保険・後期高齢者医療特別会計に反対し、他4会計に賛成する。

一般会計では、小中学校へのエアコンの設置や、情報システム機器の再リースにより経費節減が図られたことは評価する。また、ふるさと納税の返礼品を、伝統工芸品や障がい者施設で作る菓子などが選べるカタログにすれば作る方々への支援にもつながると提案する。一方、矢切公園整備業務は、松戸駅周辺まちづくり基本構想の一環として語られたが、業務の根拠も詳細

公明党

平成28年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算については、党派として進ちょく状況を注視してきた事業などを中心に検討した結果、妥当であると判断し、評価する。子どもの貧困対策推進事業では、虐待など複雑な課題を抱えている子どもたちの早期発見・早期対応にもつながる取り組みを願う。若者就労支援業務では、若者サポートステーションでのハローワークや勤労会館と連携した就労促進を評価する。住宅支援事業では、子育て世帯と市内の親

な費用も示さずに設計委託をすることは問題である。特別会計では、国保事業に關し、低所得者が占める国民皆保険制度に対し独立採算が原則という考えに反対する。競輪事業では、自治体財政をキャンセルに頼るべきではないと改めて訴える。市場事業では、空小間補償の過剰負担につながる民設公営借り上げ方式の問題を指摘する。介護保険については、全国に先駆けて実施した介護予防・日常生活支援総合事業が一年を経過したので、実態調査を要望する。また、自治体独自の負担軽減に取り組みよう強く求め、反対する。後期高齢者医療制度については、無理な医療費抑制は命にかかわる問題であり、本制度そのものに反対する。

清松会

平成28年度病院事業会計に反対し、一般会計、各特別会計および水道事業会計に賛成する。

病院事業は、松戸市に見合ったよりよい地域医療体制の構築と市民サービスの向上のため、全職員が同じ目的のもと、互いの立場で最善の責任を果たさなくてはならない。しかし、赤字である東松戸病院の経営支援策として、同じく赤字の市立病院から2億円を充てるといふ予算案は、当初から東松戸病院の赤字補てんを想定しており、暫定的措置として、その使途も明確にされていない。これまで医

まつど市民

平成28年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

今回は、土地開発公社の解散に向けた用地買戻し等、大規模な財政出動が見られることから、将来的な視点および展望を中心に検証した。総務費では、市が整備する防犯カメラや市民参加型街頭防犯ネットワークカメラの設置を推進してきたことにより、防犯対策を積極的に進めていることを評価する。

土木費の松戸駅周辺地域活性化事業では、総事業費をはじめ、各個別計画や千駄堀地区等のまちづくりを進めるに

市民クラブ

平成28年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

代表質問で確認された施策の方向性が予算にどのように具現化されているか、さらに前年度からの継続的視点で引き続き進ちょくを期待する事項を中心に審査を行った。歳出の総務費、公共施設再整備推進事業では、将来も持続可能な市政運営という点で本市の最重要課題と考え、将来に責任の果たせる場当たりでない取り組みの活路を開くよう切に期待する。民生費の地域子育て支援拠点業務では、施設3か所の新設にあたり

市民力

平成28年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

土地開発公社解散に伴う土地の買い戻しや、小中学校冷房化事業などの大きな事業が行われるとはいえず、予算額は過去最大規模である。その一方で、市税収入の増加見込み額はほぼ前年並みであり、近隣市より担税力が低い本市の財政状況は厳しく、予算を許さないように思える。

歳出においては、民生費の割合が予算全体の半分近くあり市税収入額を超えている。福祉施策にかかわる予算なので削減は難しいが、増えつつ

社民・無所属クラブ

平成28年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

シティプロモーション推進事業では、費用対効果を評価することは難しいが、想像力を働かせての調査・研究を期待する。障害者医療費助成事業では、制度改正による償還払い方式から現物給付方式への変更を市民に対し周知を願う。放射能対策企画調整等事業では、市内公園には放射性物質が1キログラム当たり1万ベクレルを超えるマイクロホットスポットが点在しているため、土壌計測の検討を要望する。雇用促進事業では、若年無業者数などの全体像を把握した取り組みを願う。空き家等対策事業では、予備軍とも言える空き家が1689件もあることから、総合的かつ計画的な取り組みを要望する。防災施設整備事業の分散備蓄倉庫は、年間2校ずつ設置しているが、災害時にはとても重要な倉庫であるため、1日も早い全校設置の実現を要望する。

国保会計では、加入者が自営業や非正規労働者が多く、福祉的な要素があるため、今後も分納や相談など、きめ細やかな対応を願う。介護保険会計では、28年度からアウトソーシングも2年目になり、効率性の向上も見込まれるため、認定審査所要日数の短縮に努められたい。

委員会の審査から

2月23日・24日・3月3日・4日・7日・8日・11日に各委員会を開催し、提出された議案について審査しました。

ここでは、その審査の中での主な質疑・答弁（要点）を掲載します。

（審議結果は2面に掲載）

総務財務 常任委員会

議案第46号 平成27年度松戸市一般会計補正予算（第4回）

自治体情報セキュリティ強化対策事業の具体的な事業内容は、当該事業は、第一に端末ロ

グイン時の二要素認証と端末からの情報持ち出しの不可設定について、第二にインターネット接続系のネットワークの分離について、第三に県の自治体情報セキュリティクラウドの利用について、それぞれ対策を図るといふものである。

地方創生加速化事業におけるコンテンツ産業振興業務の具体的な内容と今後のスケジュールは、当該業務では、国の先行型

交付金で市内事業者に対しコンテンツ産業の実態調査を実施している。また、市内コンテンツ事業者や個人クリエイターが参入し公設する「松戸コンテンツ事業者連絡協議会」を、平成28年4月に立ち上げる。今後は、調査結果を反映した施策の展開として、需要側・供給側それぞれの施策を並行して実施し、官民連携し運営していく。

健康福祉 常任委員会

議案第78号 松戸市歯と口腔の健康づくり推進条例の制定について

フッ化物洗口事業が実施となるが、すでに実施している他市では、効果の検証はされているか。

平成7年度からフッ化物洗口を実施している自治体では、フッ化物洗口を行った学年と行なっていない学年を比較し、「1人当たりのむし歯の本数が半分以下になった」、「むし歯有病率が約半数になった」とのことである。

松戸市病院事業使用料手数料条例の一部を改正する条例の制定について

紹介状を持たずに市立病院を受診すると、初診加算料として5千円を支払うことになるが、このことに例外はあるか。

平成28年度の国の診療報酬改定に伴い、特定検診やがん検診などの結果により精密検査の指示があった患者や、救急医療事業・周産期事業などにおける休日夜間受診患者、外来受診後に入院される患者などは例外となる。

教育環境 常任委員会

議案第83号 契約の締結について（松戸市立小中学空調設備整備PFI事業）

財政負担が削減できるという理由からPFI（民間資金等の活用による公共施設等の整備）事業を選択したが、今回の契約でどの程度のVFM（バリュー・フォー・マネー）を得られるのか。

VFMは10%の削減となり、設備の減価償却期間13年間で4億円程度になると試算している。

事業者から要求水準を超える提案があったとのことだが、具体的な内容は、

主な内容は、①本市が求めたエアコン設置完了時期の平成28年12月に対し、9月には供用開始できること。②ガス方式による効率的な省エネ運転をするため、室外機を連結する方式が多くの学校の設計方針に示されたこと。③維持管理において、運転時間やエネルギーの使用量等を遠隔監視できるモニタリングを採用することの3点である。

建設経済 常任委員会

議案第65号 松戸市市民交流会館条例の制定について

市民センターとの相違点は、本施設には、防災機能、市民活動拠点機能、だれもが憩える機能、子どもを育む機能、学ぶ機能、スポーツ機能という特色を持たせている。これにより、市民生活の向上、市民福祉の増進および市民文化の振興を図り、市民の交流に資するためのものとし、全市

民を対象とした施設である。

議案第84号 松戸市土地開発公社の解散について

解散後、文書等の管理はどうなるのか。また、解散により市は土地を先行取得する手段を失うが、今後どのようにする考えか。

土地開発公社では、市の規則に準じた処務規程を設けており、引き継ぎ先となる所管課と調整し、市の公文書管理規則に準じて管理すべきと考える。平成28年度予定の土地取得には、土地開発基金の活用を予定している。その後は、財政当局と協議をしたい。

市立病院検討 特別委員会

議案第52号 平成27年度松戸市病院事業会計補正予算（第1回）

退職給付引当金を取り崩し

退職給付引当金の取り崩しについては特に規制はなく、病院事業での判断となっている。今回、退職給付引当金を取り崩した後も、平成28年度に見込まれる退職手当支給額以上の残高は確保できる見通しである。また、残高は26年度と比較しても増加する見込みであることから、一定の雇用者保護は図られると考えている。

東松戸病院における医師の確保状況を伺う。また、病床利用率の状況は。

平成27年7月にリハビリテーション科医師1人を採用した。その後、緩和ケア病棟の開設もあり、10月に市立病院の外科医師1人を異動配置し、予算定数11人に対し12人の医師を配置した。病床利用率については、一般病棟84・46%、地域包括ケア病棟87%、緩和ケア病棟75%を見込んでいる。

一般質問

3月定例会では2月29日・3月1日・2日の3日間にわたり、市長の施政方針を中心に市政に関する一般質問を行いました。まず、7会派を代表する議員が、続いて会派に属さない議員2人が順次登壇しました。

公明党

鈴木 智明

送迎保育ステーションについて

希望の保育園などが利用できない場合に、バスで子どもを保育園などまで送迎するこの事業について、対象施設を拡大する考えはあるか。

東部地区に新設される園や現在利用しているバスルート上で送迎が可能な施設で、利用希望があれば、対象施設の拡大は可能と考える。また、今後は利用者の負担軽減や一時利用の際のスポット料金の設定も視野に入れ、体制を整えていく考えである。

高齢化社会に伴う交通政策について

高齢者が移動する際の負担を軽減するため、デマンド型（予約型）乗り合いタクシー方式を導入する考えは。

誰もが外出しやすい環境づくりとして、小回りのきく新たな交通手段を導入する必要性はあると認識している。市民の意識やニーズを把握するためのアンケート調査を実施し、既存バス路線を補完するため、高齢の方にも使いやすい運行経路や運行時間を踏まえた地域の実情を勘案した上で、必要に応じてデマンド型交通やコミュニティバスなどの新たな交通手段の導入を進め、最速で持続可能な公共交通ネットワークを構築していきたいと考える。

松戸駅周辺地域の活性化について

平成27年度に策定された松戸駅周辺まちづくり基本構想の中の、相模台の国有地を含めた新拠点ゾーンのまちづくりについて、現状と取得に向けた国との協議の進捗よく状況について伺う。

松戸駅周辺まちづくり基本構想に位置付けている新拠点ゾーンは、多機能拠点の整備として複合施設の整備や松戸中央公園の再整備、アクセスルートへの整備について検討を行っている。また、相模台の国の官舎跡地は、松戸駅近傍に残された最後の大規模まちづくり用地であり、活用方針も含めて国との協議を深めたいと考えている。

まつど自民

鈴木 大介

地方創生について取り組みと展望は

問 国は、各自治体における地方版総合戦略を基にした地域の意欲的なチャレンジに対し、地方創生交付金により応援するとしているが、本市における地方創生施策の今後の展望をどう考えるか。

答 本市では、市の将来に不可欠である人口ビジョン達成のための施策として、松戸市総合戦略を策定した。国の交付金対象事業として、当該総合戦略に掲げる子育て支援や介護人材育成のための事業等を申請し、採択されている。今後も新型交付金が予定され、複数年度にわたる事業も対応可能になると聞く。地方創生への取り組みとして当該総合戦略に掲げた施策を推進するため、また本市の課題解決のための機会として、積極的に活用していきたい。

市庁舎の建て替えについて

問 松戸駅周辺まちづくり基本構想には、市役所本庁舎の建て替えが含まれていないが、市庁舎の建て替えについてはどのように考えているのか。

答 当該基本構想では、現在、矢切の渡し付近における観光拠点、そして新拠点ゾーンにおける多機能拠点として複合施設の整備や松戸中央公園の再整備等について検討している。市庁舎は耐震性に不安があり、有事の際に防災機能が確保できない可能性が懸念されることから、まちづくりの方針としても防災機能の確保が重要と考えている。新拠点の整備にあたっては、防災拠点となる市庁舎の移転についても整備費用等の検証を行いながら、関係部署と連携を図り、検討していきたいと考える。

市債残高の限界値は

つくじまどと考えるか

問 増え続ける市債残高は過去最大だった平成8年度に間もないが、限界値をどのように考えるか。

答 8年度の市債残高は約1436億円であった。近年の財政決算状況と比較しても、市債残高の限度額は8年度と同規模程度であると考えている。

市民クラブ

中川 英孝

矢切地区開発について

問 矢切観光拠点事業計画の内容について伺う。

答 本計画は、都市公園や年間100万人が来訪できる道の駅も含め10ヘクタール規模の整備を行うとともに、6次産業化による新たな雇用の創出や来訪者等による経済効果も見込んでいる。また、民間活力の導入や補助制度を活用し事業費の負担軽減に努めていく。

新松戸のまちづくりについて

問 平成27年3月定例会でも新松戸のまちづくりについて一般質問を行っているが、その後の取り組みについて市の見解を伺う。

答 新松戸のまちづくりにおける市街化区域編入は、少子高齢化に対応した人口規模を維持するため、発展性を兼ね備えた住環境の改善と経済振興の循環を導く検討を進め方向性を見出したい。常磐線快速の新松戸駅停車は、JR東日本と定期的に勉強会を開催し専門的な知見を得ながら課題の整理をしている。神明堀の架橋は、地域全体との道路ネットワークの検討と併せ総合的に判断する。新松戸駅東側のまちづくりは、地元町会を中心としたいいわゆる井戸端会議や地権者説明会を実施し、地元の協力により安心して快適に暮らせる安全なまちの実現に努める。

千駄堀・幸田地域のまちづくりについて

問 この2地域にも、これを市の成長戦略と捉え、少子高齢化を見据えたまちづくりをすべきと考えるが市の見解を伺う。

答 千駄堀地域は都市計画マスタープランにおいて武蔵野線新駅の要請や面整備等も掲げており、平成27年9月には千駄堀地域開発検討プロジェクトを設置し課題の整理や対応手段等を検討している。幸田地域には、隣接する流山市に坂川の清流と緑化整備された調整池等と調和した閑静な住宅地が形成されていることから、調和の取れた秩序ある市街化調整区域の土地利用のあり方を検討していく。

日本共産党

山口 正子

国民健康保険財政調整基金活用と一般会計からの繰り入れについて

問 一般会計からの繰入や国保財政調整基金の活用で保険料を引き下げるべきと考えるが、市の見解は。

答 1人当たりの保険給付費等は、被保険者の高齢化および医療の高度化などにより年々増加の一途をたどっている。また、平成30年4月からの国保の広域化とその後の方について現段階では不確定な要素が多いことから、国保財政調整基金の取崩しや一般会計からの法定外繰入れによる一時的な値下げをするのではなく、長期的な視点に立ち、保険料の値上げ抑制に活用していきたいと考えている。

精神科診療を早期に再開できないか

問 市立病院精神科の医師の確保が困難な原因は、また、早期の精神科診療再開をどう考えているか。

答 市立病院としても、精神科医師の確保は大きな課題であると認識し、大学病院へ医師派遣の交渉を継続して行っている。しかしながら、精神科医師が総合病院でなく市中のクリニック勤務を志向する傾向が強くなっていることも要因の一つとなり、医師の確保を大変困難にしている。いずれにしても、総合病院として医療機能向上の観点からも、精神科医師の確保方策について鋭意取り組んでいきたい。

教育行政に対する市長の姿勢・かわり方について

問 平成27年12月、組み体操について議会質問が相次ぐ中、市長は「組み体操の禁止」を含めた要請を教育委員会に行ったことを記者会見で発表した。このことは、議会答弁と異なるものであり、議会軽視であるとともに、教育への政治介入と言わざるを得ない。記者会見はとどまるべきではなかったか。

答 組み体操に関するガイドライン策定の要請に関連する記者会見については、市長部局、教育委員会ともに事件の重大性を鑑み、事実関係を正確に報道機関を通じて市民に説明していく必要性を認識した上で、開催に至ったものである。

市民力

山中 啓之

市長のマニフェストについて

問 市長が一期目に打ち出した、55のマニフェストの進捗は。その中で議会で否決となった常設型住民投票条例の再度提案について見解を伺う。

答 55のマニフェストは、保育所整備や放課後児童クラブの充実等、現在、一部達成も含め51事業、92・7%の達成率である。常設型住民投票条例は投票資格者や投票結果の尊重等についての議会からの指摘事項・課題を検討し、あらためて提案したい。

子どもの貧困および貧困による教育格差について

問 子どもの貧困および貧困による教育格差の指標や実態をどう捉えているか。また、貧困による教育格差をなくすための学力の保障とは何か。

答 子どもの貧困に関しては、就学支援制度受給者と生活保護受給者を合わせた就学援助率を数値的な指標としている。実態としては、全国学力学習状況調査結果を基にした市内小中学校の標準化得点と就学援助率とを比較した結果から、学力と家庭の経済状況との間には相関性があると捉えている。また、学力の保障等の検証は、全国学力学習状況調査結果を指標とし、理解力等の達成状況を上位からABC Dに分類している。この中のD層を減らしてA・B層を増やし、学習に対する関心や意欲等を増やすことを目標とする。

2020年東京オリンピック・パラリンピックについて

問 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みを市民と分かりやすく共有し、共に盛り上げていく仕組みをどう確立していくのか。

答 市内の関係団体等で構成される「松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピックやさしいおもてなシティ推進会議」を中心とした仕組みづくりを考えている。市ホームページでも特設ページを作成し、各種イベント等「いつ」「どこで」「何を」実施されるか、分かりやすい配信を考えている。

社民・無所属クラブ

増田 薫

安心して子どもを産み育てる

環境整備について

問 甲状腺超音波検査の見直しについて伺う。

答 平成28年度からは、検査回数制限を見直し、隔年で受診できるように変更する。検査規模を拡大する予定はないが、最大限の検査人数枠まで対応が可能となるよう、市立病院と調整を進めている。さらに、検査結果の公表については、従来の判定区分と人数だけでなく、判定内容をわかりやすくするために説明文を追加することとした。

高齢者が元気に暮らせる

まちづくりについて

問 新市立病院の開設に向け、医師と看護師の確保については、どのように計画しているか。

答 医師確保のために、大学など関係機関への働きかけをするほか、医学生対象の合同就職説明会へ参加してアピールを行うことにより、初期研修医の確保に繋げている。また、研修指導医を育成し、指導内容の充実と指導方法の向上に努め、研修医がその後も当院の常勤医師として希望してもらえるように取り組んでいる。一方、看護師については、7対1看護体制と2交替および3交替の選択制勤務を導入し、働きやすい職場環境の整備を図ることで、新規応募者数の増加と離職防止に努めていく。

教職員間の協力体制と

教職員の多忙化について

問 学校長をはじめとした教職員間の協力体制は。また、教職員の多忙化などの改善策は。

答 各学校で、課題に応じたプロジェクト制の導入や若手とベテラン教職員とを組み合わせるなど、組織力の向上と協働による組織づくりを進めている。特に学校長と教職員との意思疎通は、学校内の協力体制の確立に重要な役割を果たすと考える。また、教職員の多忙化については、各学校で勤務時間の適切な管理や協働体制の推進に取り組み、これを校長会に示すことで共有化を図るとともに、学校運営委員会でも取り上げて協議を進めている。

清松会

大橋 博

リーダーシップや

たくましさの育成を

問 市では、学校教育の中で人間力やリーダーシップ、たくましさなどをどのように育成していくのか。

答 変革社会の中で、自分を表現し他と協働して生き抜くたくましさを育むことは大変重要である。国の調査では、子どものころの体験が多いほど、人間力が高くやる気や生きがいを持つ傾向が高いことがわかった。本市でも、体験学習や部活動等の豊かな体験活動を重視し、主体的に人生を切り開く意欲を持ち続けるための自己有用感を育てることが大切と考えており、特にコミュニケーション能力等の人間力を高めるための取り組みを入れている。引き続き、知・徳・体のバランスのとれた人間力の育成を目指し、教育の一層の充実を図っていきたい。

五香・東松戸バス路線の

進ちよく状況は

問 東松戸駅周辺の活性化に伴うバス路線の整備として、五香駅からの路線延伸の現状は。

答 本市においても、まちづくりの観点や交通利便性の向上から、鉄道駅と結節したバス路線網の充実が重要と認識し、バス事業者に対して幾度となく要望している。現在、バス事業者のほうで朝夕の通勤時間帯の運行や紙敷車庫での乗り継ぎの利便性向上も含め、延伸の可能性を検討している状況である。

市役所職員の昼休みの取り方について

問 現在、昼の休憩時間は45分だが、休憩時間15分を加えた60分間の昼休みを希望する職員のために、勤務時間を自由に選択できるフレックスタイム制のような新たな制度を導入する考えはあるか。

答 職員の自由な選択制を実行した場合、職員の適正な労務管理や勤務時間の均衡保持、特に市民サービスとの維持という観点から基礎自治体になじみにくい等の課題があり、導入が進まない現状がある。当面の間、現状を見守り、あらためて休憩時間を含む勤務時間制度のあり方を研究していきたい。

無所属

関根 ジロー

市民活動について

問 市民活動が盛んになってきたが、市民活動保険のあり方について考えを伺う。

答 現在、本市では自発的に行う市民団体の活動における保険は自己負担となっている。一方、近隣市では、自治体が市民活動の参加者を対象に保険料を負担している。本市としては、より多くの市民が町会・自治会活動やボランティア活動等の市民活動に安心して気軽に参加できることが、地域の活性化の一助になるものと考えている。今後、そのような環境を整備するために、他市の状況を参考にしながら、市民活動団体等を支援するための保険制度の導入を検討していく。

無所属

中田 京

財政担当の責務について

問 いったん始めたならなかなか止められないのが行政の仕事であり、予算の付いた事業はなおさらである。本日に行政がやるべきことか、既存の事業と併せて成果を挙げられるか、現有職員数でできるか、厳密に精査し予算を付けることが求められると理解するが、予算付けした事業等が頓挫した際は事業担当だけでなく財政担当も責を負うと考えてよいか。

答 健全な財政運営の堅持に意を注ぐことに尽きるが、組織として意思決定あるいは合意形成された施策については、その財源を確保することも重要な責務である。また、予算付けした事業については、当然財政担当も責任を負うと考えている。

意見書4件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

- 軽減税率の円滑な導入に向け事業者支援の強化などを求める意見書
- 別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する意見書
- 児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書
- LGBTなどの性的マイノリティへの理解と社会環境整備の促進を求める意見書

人事案件

人権擁護委員2人、固定資産評価員1人の退任に伴い、それぞれの方の推薦および選任に同意しました。

- 人権擁護委員
 - 大井 博美
 - 藤田 宗晴
- 固定資産評価員
 - 高尾 司

ちょっと一息 選挙権年齢が18歳以上になりました!!



～未来のために 私たちの声を届けよう～



受賞者の皆さんと大井知敏議長

松戸市議会表彰

この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等で、特に功績のあった個人・団体に対し、松戸市議会が表彰を行い、功労に報いるとともに、市民の郷土愛を育むことを目的としています。

2月26日に、松戸市議会表彰を本会議場で執り行いました。

個人表彰

青木 萌 (市立南部小学校)
★2015全日本ジュニア体操競技選手権大会 女子Cクラス
ゆか 第1位
※当日は、都合により欠席されました。

生方 秀典 (市立常盤平中学校) 1列右から2番目
★第5回「ボールペン字大賞」自由文部門
小中学生の部 大賞 文部科学大臣賞

団体表彰

市立第三中学校
代表 栗原 愛莉 1列左から2番目
★2015JAPAN OPEN Cheerleading
Championship Senior Doubles
Freestyle Pom 第1位

市立小金中学校 Ja☆P Steady Fam Steel
世古 歩己・相田 佳吾
荒木 崇章・江尻 瑞輝 2列右から
★Double Dutch Delight Kids 2015
ADVANCED部門 フェージョン優勝

市立栗ヶ沢中学校 弓道部
代表 東口 愛美 1列右
★第12回 全国中学生弓道大会
団体競技・女子の部 優勝

市立相模台小学校
代表 渡邊 歩高 1列左
渡邊 晴磨・山口 拓也
★文部科学大臣杯 第11回
小・中学校将棋団体戦
小学校の部 優勝
※当日、渡邊晴磨さん・山口拓也さんは都合により欠席されました。

市立第一中学校 吹奏楽部
代表 金 賀恩 2列左
★第21回 日本管楽合奏コンテスト全国大会
中学校B部門 最優秀賞

市立第四中学校 吹奏楽部
代表 石井 淳珠 3列左から2番目
★第21回 日本管楽合奏
コンテスト全国大会
中学校B部門 最優秀賞

市立松戸高等学校 合唱部
代表 関 一輝・対馬 あい子 3列右から
★第8回 声楽アンサンブルコンテスト
全国大会 高等学校部門 金賞

聖徳大学附属女子中学校高等学校 書道部
代表 川口 水輝子 3列左
★第57回 全国書道展 団体の部
外務大臣賞
(敬称略)



♪市立松戸高等学校合唱部の皆さんに「松戸市立松戸高等学校校歌」、「上を向いて歩こう」、「Over Drive」を披露していただきました。♪

8月1日(月)です。次回発行予定は

- 議会だよりの編集を担当しています ~広報委員会~
- 委員長 渋谷 剛 士 ●副委員長 大谷 茂 範
 - 委員 山口 正 子 D E L I 関根 ジロー
 - 鈴木 智 明 鈴木 大 介 石 井 勇
 - 箕輪 信 矢 伊 東 英 一 市 川 恵 一
 - 織原 正 幸

編集の窓

新緑が映える季節となりました。新しい職場や学校など、新生活に慣れ始めたころかと思います。今回の議会だよりでは、3月定例会での平成28年度予算審査の内容等をお知らせします。市政の概要が皆さんに伝われば幸いです。広報委員会では、毎号皆様に読みやすく分かりやすい議会だよりの編集を心がけておりますので、ぜひ次号もご覧ください。